



# コンフィギュレーションのコンテキスト差分ユーティリティ

コンフィギュレーションのコンテキスト差分ユーティリティ機能は、2つのコンフィギュレーションファイル（Cisco IOS Integrated File System（IFS）を通じてアクセス可能）を行ごとに比較し、その間の違いの一覧を生成する機能を提供します。生成される出力には、追加、変更、削除された設定行と、変更された設定行が存在するコンフィギュレーションモードに関する情報が含まれています。

## この章で紹介する機能情報の入手方法

ご使用の Cisco IOS ソフトウェア リリースで、このモジュールで説明されるすべての機能がサポートされているとは限りません。この章に記載されている特定の機能に関する説明へのリンク、および各機能がサポートされているリリースのリストについては、「[コンフィギュレーションのコンテキスト差分ユーティリティの機能情報](#)」(P.8) を参照してください。

## プラットフォームおよび Cisco IOS ソフトウェア イメージのサポート情報の入手方法

Cisco Feature Navigator を使用すると、プラットフォーム、Cisco IOS ソフトウェア イメージ、および Cisco Catalyst OS ソフトウェア イメージの各サポート情報を検索できます。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> からアクセスします。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

## この章の構成

- 「[コンフィギュレーションのコンテキスト差分ユーティリティの前提条件](#)」(P.2)
- 「[コンフィギュレーションのコンテキスト差分ユーティリティの制約事項](#)」(P.2)
- 「[コンフィギュレーションのコンテキスト差分ユーティリティについて](#)」(P.2)
- 「[コンフィギュレーションのコンテキスト差分ユーティリティの使用方法](#)」(P.3)
- 「[コンフィギュレーションのコンテキスト差分ユーティリティの設定例](#)」(P.4)
- 「[その他の関連資料](#)」(P.7)
- 「[コマンドリファレンス](#)」(P.8)
- 「[コンフィギュレーションのコンテキスト差分ユーティリティの機能情報](#)」(P.8)



## コンフィギュレーションのコンテキスト差分ユーティリティの前提条件

コンフィギュレーションのコンテキスト差分ユーティリティ機能で使用されるコンフィギュレーションファイルの形式は、次に示す標準的な Cisco IOS コンフィギュレーションファイルのインデントルールに準拠している必要があります。

- 新しい行のすべてのコマンドは、コマンドがコンフィギュレーションサブモードにない限り、インデントなしで開始します。
- レベル 1 コンフィギュレーションサブモード内のコマンドは、スペース 1 個分インデントします。
- レベル 2 コンフィギュレーションサブモード内のコマンドは、スペース 2 個分インデントします。
- 以降のサブモードのコマンドも同様にインデントします。

ルータには、比較する 2 つのコンフィギュレーションファイルを合わせたサイズよりも大きい連続したメモリブロックが必要です。

## コンフィギュレーションのコンテキスト差分ユーティリティの制約事項

ルータに、比較する 2 つのコンフィギュレーションファイルを合わせたサイズよりも大きい連続したメモリブロックがない場合、比較操作に失敗します。

## コンフィギュレーションのコンテキスト差分ユーティリティについて

コンフィギュレーションのコンテキスト差分ユーティリティ機能を使用する前に、次の概念について理解してください。

- 「[コンフィギュレーションのコンテキスト差分ユーティリティの利点](#)」 (P.2)
- 「[コンフィギュレーションのコンテキスト差分ユーティリティの出力形式](#)」 (P.3)

## コンフィギュレーションのコンテキスト差分ユーティリティの利点

コンフィギュレーションのコンテキスト差分ユーティリティ機能は、2 つのコンフィギュレーションファイル (Cisco IOS File System (IFS) を通じてアクセス可能) を行ごとに比較し、その間の違いの一覧を生成する機能を提供します。生成された出力に、次の項目に関する情報が含まれます。

- 追加、変更、削除された設定行。
- 変更された設定行が存在するコンフィギュレーションモード。
- 順序による影響を受ける設定行の場所の変更。たとえば、**ip access-list** コマンドと **community-lists** コマンドは、コンフィギュレーションファイル内での、同じ種類の他の Cisco IOS コマンドとの相対的な順序による影響を受けます。

## コンフィギュレーションのコンテキスト差分ユーティリティの出力形式

### 比較操作

コンフィギュレーションのコンテキスト差分ユーティリティ機能は、2つのコンフィギュレーションファイルのファイル名を入力として使用します。比較操作が指定したファイルに対して実行され、2つのファイルの間の差分が出力として生成されます。出力の解釈は、2つのファイルの設定順序に依存します (**show archive config differences** コマンド)。このため、最初に入力したファイルのファイル名が **file1**、2番目に入力したファイルのファイル名を **file2** とします。生成される出力リストの各エントリの前には、見つかった差分の種類を示す固有のテキスト記号が付与されます。テキスト記号とその意味は次のとおりです。

- マイナス記号 (-) は、設定行が **file1** に存在し **file2** に存在しないことを示します。
- プラス記号 (+) は、設定行が **file2** に存在し **file1** に存在しないことを示します。
- 感嘆符 (!) と説明用のコメントは、順序による影響を受ける設定行の場所が、**file1** と **file2** で異なることを示します。

### 差分比較操作

一部のアプリケーションでは、比較操作で生成される出力に、変更されていない（つまりマイナス記号もプラス記号もない）設定行が含まれている必要があります。そのようなアプリケーションのために、差分比較操作を実行できます。この操作では、指定されたコンフィギュレーション ファイルを実行コンフィギュレーション ファイルと比較します (**show archive config incremental-diffs** コマンド)。

差分比較操作を実行すると、実行コンフィギュレーション ファイルにない設定行（つまり、実行コンフィギュレーション ファイルと比較する、指定したファイルだけに現れる設定行）が出力として生成されます。感嘆符 (!) と説明用のコメントは、順序による影響を受ける設定行の場所が、指定したコンフィギュレーション ファイルと実行コンフィギュレーション ファイルで異なることを示します。

## コンフィギュレーションのコンテキスト差分ユーティリティの使用

ここでは、次の手順について説明します。

- 「[コンフィギュレーションのコンテキスト差分ユーティリティの使用](#)」(P.3) (必須)

## コンフィギュレーションのコンテキスト差分ユーティリティの使用

この作業では、コンフィギュレーションのコンテキスト差分ユーティリティ機能を使用する方法について説明します。

### 手順の概要

1. **enable**
2. **show archive config differences** [*file1* [*file2*]]  
または  
**show archive config incremental-diffs** [*file*]
3. **exit**

■ コンフィギュレーションのコンテキスト差分ユーティリティの設定例

手順の詳細

|       | コマンドまたはアクション   | 目的  |
|-------|--|---|
| ステップ1 | <p><b>enable</b></p> <p>例：<br/>Router&gt; enable</p>   | <p>特権 EXEC モードをイネーブルにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。</li> </ul>   |
| ステップ2 | <p><b>show archive config differences</b> [<i>file1</i> [<i>file2</i>]]<br/>または<br/><b>show archive config incremental-diffs</b> <i>file</i></p> <p>例：<br/>Router# show archive config differences<br/>running-config startup-config<br/>または<br/>例：<br/>Router# show archive config incremental-diffs<br/>nvram:startup-config</p> | <p>2つのコンフィギュレーションファイル（IFSを通じてアクセス可能）を行ごとに比較し、その間の差分の一覧を生成します。</p> <p>または</p> <p>指定したコンフィギュレーションファイルと実行コンフィギュレーションファイルを行ごとに比較し、実行コンフィギュレーションファイルにない設定行の一覧を生成します。</p> |
| ステップ3 | <p><b>exit</b></p> <p>例：<br/>Router# exit</p>  | <p>ユーザ EXEC モードに戻ります。</p>   |

## コンフィギュレーションのコンテキスト差分ユーティリティの設定例

ここでは、次の設定例について説明します。

- 「比較操作：例」(P.4)
- 「差分比較操作：例」(P.6)

### 比較操作：例

この例では、実行コンフィギュレーションファイルとスタートアップコンフィギュレーションに対して比較操作を行います。表 1 に、この例で使用するコンフィギュレーションファイルを示します。

表 1 比較操作の例で使用するコンフィギュレーション ファイル

| 実行コンフィギュレーション ファイル   | スタートアップ コンフィギュレーション ファイル   |
|--|--|
| <pre>no ip subnet-zero ip cef interface Ethernet1/0  ip address 10.7.7.7 255.0.0.0  no ip route-cache  no ip mroute-cache  duplex half no ip classless snmp-server community public RO</pre> | <pre>ip subnet-zero ip cef ip name-server 10.4.4.4 voice dnis-map 1  dnis 111 interface Ethernet1/0  no ip address  no ip route-cache  no ip mroute-cache  shutdown  duplex half ip default-gateway 10.5.5.5 ip classless access-list 110 deny ip any host 10.1.1.1 access-list 110 deny ip any host 10.1.1.2 access-list 110 deny ip any host 10.1.1.3 snmp-server community private RW</pre> |

次に、**show archive config differences** コマンドからの出力例を示します。この出力例は、表 1 のコンフィギュレーション ファイルに対して比較操作を行った結果です。

Router# **show archive config differences running-config startup-config**

```
+ip subnet-zero
+ip name-server 10.4.4.4
+voice dnis-map 1
 +dnis 111
interface Ethernet1/0
 +no ip address
 +shutdown
+ip default-gateway 10.5.5.5
+ip classless
+access-list 110 deny ip any host 10.1.1.1
+access-list 110 deny ip any host 10.1.1.2
+access-list 110 deny ip any host 10.1.1.3
+snmp-server community private RW
-no ip subnet-zero
interface Ethernet1/0
 -ip address 10.7.7.7 255.0.0.0
-no ip classless
-snmserver community public RO
```

## 差分比較操作：例

この例では、スタートアップ コンフィギュレーション ファイルと実行コンフィギュレーション ファイルに対して差分比較操作を行っています。表 2 に、この例で使用するコンフィギュレーション ファイルを示します。

表 2 差分比較操作の例で使用するコンフィギュレーション ファイル

| スタートアップ コンフィギュレーション ファイル   | 実行コンフィギュレーション ファイル   |
|--|--|
| <pre>ip subnet-zero ip cef ip name-server 10.4.4.4 voice dnis-map 1   dnis 111 interface Ethernet1/0   no ip address   no ip route-cache   no ip mroute-cache   shutdown   duplex half ip default-gateway 10.5.5.5 ip classless access-list 110 deny ip any host 10.1.1.1 access-list 110 deny ip any host 10.1.1.2 access-list 110 deny ip any host 10.1.1.3 snmp-server community private RW</pre> | <pre>no ip subnet-zero ip cef interface Ethernet1/0   ip address 10.7.7.7 255.0.0.0   no ip route-cache   no ip mroute-cache   duplex half no ip classless snmp-server community public RO</pre> |

次に、**show archive config incremental-diffs** コマンドからの出力例を示します。この出力例は表 2 のコンフィギュレーション ファイルに対して差分比較操作を行った結果です。

Router# **show archive config incremental-diffs startup-config**

```
ip subnet-zero
ip name-server 10.4.4.4
voice dnis-map 1
  dnis 111
interface Ethernet1/0
  no ip address
  shutdown
ip default-gateway 10.5.5.5
ip classless
  access-list 110 deny ip any host 10.1.1.1
  access-list 110 deny ip any host 10.1.1.2
  access-list 110 deny ip any host 10.1.1.3
snmp-server community private RW
```

## その他の関連資料

ここでは、コンフィギュレーションのコンテキスト差分ユーティリティ機能に関する参考資料について説明します。

### 関連資料

| 関連項目                         | 参照先  |
|------------------------------|--|
| コンフィギュレーション ファイルの管理についての情報   | <a href="#">『Managing Configuration Files』</a>                           |
| コンフィギュレーション ファイルを管理するためのコマンド | <a href="#">『Cisco IOS Configuration Fundamentals Command Reference』</a> |

### 規格

| 規格   | タイトル |
|--|------|
| この機能によりサポートされた新規標準または改訂標準はありません。またこの機能による既存標準のサポートに変更はありません。 | —    |

### MIB

| MIB  | MIB リンク   |
|--|---|
| この機能によってサポートされる新しい MIB または変更された MIB はありません。またこの機能による既存 MIB のサポートに変更はありません。 | <p>選択したプラットフォーム、Cisco IOS リリース、および機能セットの MIB を検索してダウンロードする場合は、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用します。</p> <p><a href="http://www.cisco.com/go/mibs">http://www.cisco.com/go/mibs</a></p> |

### RFC

| RFC   | タイトル |
|---|------|
| この機能によりサポートされた新規 RFC または改訂 RFC はありません。またこの機能による既存 RFC のサポートに変更はありません。 | —    |

## シスコのテクニカル サポート

| 説明  | リンク  |
|---|--|
| <p>右の URL にアクセスして、シスコのテクニカル サポートを最大限に活用してください。</p> <p>以下を含むさまざまな作業にこの Web サイトが役立ちます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• テクニカル サポートを受ける</li> <li>• ソフトウェアをダウンロードする</li> <li>• セキュリティの脆弱性を報告する、またはシスコ製品のセキュリティ問題に対する支援を受ける</li> <li>• ツールおよびリソースへアクセスする             <ul style="list-style-type: none"> <li>– Product Alert の受信登録</li> <li>– Field Notice の受信登録</li> <li>– Bug Toolkit を使用した既知の問題の検索</li> </ul> </li> <li>• Networking Professionals (NetPro) コミュニティで、技術関連のディスカッションに参加する</li> <li>• トレーニング リソースへアクセスする</li> <li>• TAC Case Collection ツールを使用して、ハードウェアや設定、パフォーマンスに関する一般的な問題をインタラクティブに特定および解決する</li> </ul> <p>この Web サイト上のツールにアクセスする際は、Cisco.com のログイン ID およびパスワードが必要です。</p> | <p><a href="http://www.cisco.com/techsupport">http://www.cisco.com/techsupport</a></p> |

## コマンド リファレンス

次に示すコマンドは、このモジュールに記載されている機能または機能群において、新たに導入または変更されたものです。これらのコマンドの詳細については、『Cisco IOS Configuration Fundamentals Command Reference』

([http://www.cisco.com/en/US/docs/ios/fundamentals/command/reference/cf\\_book.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/ios/fundamentals/command/reference/cf_book.html)) を参照してください。すべての Cisco IOS コマンドの詳細については、<http://tools.cisco.com/Support/CLILookup> にある Command Lookup Tool を使用するか、または『Cisco IOS Master Commands List』を参照してください。

- **show archive config differences**
- **show archive config incremental-diffs**

## コンフィギュレーションのコンテキスト差分ユーティリティの機能情報

表 3 に、この機能のリリース履歴を示します。



ご使用の Cisco IOS ソフトウェア リリースによっては、コマンドの中に一部使用できないものがあります。特定のコマンドに関するリリース情報については、コマンドリファレンス マニュアルを参照してください。

Cisco IOS ソフトウェア イメージは、Cisco IOS ソフトウェア リリース、機能セット、プラットフォームそれぞれに固有です。Cisco Feature Navigator を使用すると、プラットフォームおよび Cisco IOS ソフトウェア イメージの各サポート情報を検索できます。<http://www.cisco.com/go/cfn> にある Cisco Feature Navigator にアクセスしてください。Cisco.com のアカウントは必要ありません。



(注) 表 3 には、一連の Cisco IOS ソフトウェア リリースのうち、特定の機能が初めて導入された Cisco IOS ソフトウェア リリースだけが記載されています。特に明記していない限り、その機能は、一連の Cisco IOS ソフトウェア リリースの以降のリリースでもサポートされます。

表 3 コンフィギュレーションのコンテキスト差分ユーティリティの機能情報

| 機能名                         | リリース   | 機能情報   |
|-----------------------------|--|--|
| コンフィギュレーションのコンテキスト差分ユーティリティ | 12.3(4)T<br>12.2(25)S<br>12.2(27)SBC<br>12.2(33)SRA<br>12.2(33)SXH<br>12.2(33)SB | <p>コンフィギュレーションのコンテキスト差分ユーティリティ機能は、2つのコンフィギュレーション ファイルを行ごとに比較し、その間の違いの一覧を生成する機能を提供します。生成される出力には、追加、変更、削除された設定行と、変更された設定行が存在するコンフィギュレーション モードに関する情報が含まれています。</p> <p>この機能は、12.3(4)T で初めて導入されました。</p> <p>12.2(33)SB では、この機能が Cisco 10000 シリーズに実装されました。</p> <p>この機能に関する詳細については、次の各項を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「コンフィギュレーションのコンテキスト差分ユーティリティの利点」(P.2)</li> <li>「コンフィギュレーションのコンテキスト差分ユーティリティの出力形式」(P.3)</li> <li>「コンフィギュレーションのコンテキスト差分ユーティリティの使用」(P.3)</li> </ul> <p>この機能によって変更されたコマンドは、<b>show archive config differences</b>、<b>show archive config incremental-diffs</b> です。</p> |

Cisco and the Cisco Logo are trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the U.S. and other countries. A listing of Cisco's trademarks can be found at [www.cisco.com/go/trademarks](http://www.cisco.com/go/trademarks). Third party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1005R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

© 2003–2008 Cisco Systems, Inc.  
All rights reserved.

Copyright © 2003–2011, シスコシステムズ合同会社.  
All rights reserved.

